

中央公民館だより

そうぞうながと



発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当
TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648

中央公民館広報紙
No.175

親子のふれあいを大切に！



♪「親子でリトミック」♪

音楽に合わせて楽しく遊びながら自己表現することで、素直に感動する豊かな心や感性を養います。

長門市中央公民館では、毎月第2・4水曜日または第1・3水曜日に、4歳までの幼児を対象に「親子でリトミック」を開催しています。



伝えたい「ふるさと深川」シリーズ 131
音信川の木橋物語

音信川には、750mの間に12個の橋が架設されている。国道491号線の湯本大橋から東に門前・せせらぎ・八千代・千代・松声・曙・きらきら・国道316号の音信大橋・観瀑橋と河川公園にかじか・鶴声橋がある、特に平成8年に完成した二つの木の橋せせらぎ・きらきら橋がある。この木橋には、地元向陽小学校の児童たちから橋の名前を公募し橋の名前も児童が書いた。その理由は、自分たちの付けた名前・題字は、児童にとっては、いつまでも故郷の長門を思い出し、いつか故郷に帰ってくれるのではないかとの思いを県の責任者が語った。県は、平成6年から同13年度にかけて9億9千万円かけて音信川河川公園一体を整備。きらきら橋は、美称方面に向かう316号の国道の橋に歩道がなく地元の要請で、歩道橋として設置された。この橋は、長州鰐(つば)をデザインして屋根に板がない。そこで児童たちは、夜星や川面がキラキラと輝いて見えるので「きらきら橋」と名付けた。橋の名称・題字に6人の児童と学校が関わっている。



きらきら橋

ところが、街づくりのために昨今、橋の名称が変更された。夢があり誇りがあったこの物語を大人たちは無残に碎いた。
「きらきら橋」から「いちのせ橋」の変更にも異議あり！
10年間ありがとうございました。

長門郷土文化研究会
顧問 藤井 文則

わが家の宝子



おおた あゆむ
大田 歩さん (2歳)

こだわりが強く負けず嫌いです。じいじ、ばあばの事が大好きです。コロナが落ち着いたら、歩の大好きな新幹線に乗って家族旅行に行こうね。

今月のうた

山茶花クラブ

冬の灯を寄せて遠野の物語

山田 耕司

たくましく藪分け出づる野水仙

永田美智子

御神渡り自然の技のミニメント

岡田フジエ

長門短歌会

惜し気なく手間暇かけた漬物を

佐貫 勝代

二山越えて持ち来れし女

カーリングチーム分ならずも見てしまう

日本チームの勝利を願う

心病む人びと多き昨今に

吉富 成子

コロナの社会が拍車をかける

原田 満江

深川地区の人口

世帯数	5,977	(-10)
男性	5,800	(-7)
女性	6,683	(-10)
計	12,483	(-17)

(R4年2月1日現在)

中央公民館 3月の行事予定

5日(土)	キッズエクササイズ(3B 体操) 子どもクラブ
9日(水)	親子でJミック
16日(水)	中央公民館運営協議会理事会
19日(土)	キッズエクササイズ(3B 体操)
23日(水)	親子でJミック

※新型コロナウイルス感染状況等により
行事予定は変更になる場合があります。

編集後記

▼『ふるさと深川』シリーズを読むと毎回、筆者のふるさと愛と次世代に引き継ぎたいとする強い思いが行間から伝わってきます。近くに居ながら見落とされていた貴重な新たな発見を楽しみにしている方、昔を懐かしむ県外在住の方など根強い愛読者がいらっしやいます。10年間にわたる連載でしたが、都合により今回で最終稿となります。
長年ご執筆いただいた藤井文則さん、本当に有難うございました。

文部科学大臣表彰を受賞 家庭教育支援チーム「ふあみ」

長門市の子育て支援ボランティアグループ「家庭教育支援チーム「ふあみ」」が、令和3年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。

2月4日(金)、第74回優良公民館表彰とともに表彰式が行われ、会場となった文部科学省にはコロナ禍のため近県のみを受賞者が出席し、全国の受賞公民館と家庭教育支援チームはオンラインでの参加となりました。スクリーン越しではあるものの厳肅な雰囲気の中、式が進行され、鰐淵洋子文部科学大臣政務官が祝辞を述べました。

今年度の家庭教育支援チームの受賞は全国31団体、山口県からは唯一の受賞となりました。「ふあみ」は、山口県教育委員会主催の家庭教育アドバイザー養成講座修了者で構成しており、毎年、市内各小学校の就学時健診での保護者交流会、高校・中学校での学生と乳幼児親子の交流のサポート、子育て応援情報誌の発行などをを行っています。代表の久保田啓子さんは、「結成から8年、微力ながら活動してきたことに対して、今回このような賞をいただき励みになります。」と話していました。



受賞を受け、表彰会場から記念撮影も行われました。

家庭の日クリアファイル & 子ども110番の家マップ配付

長門市青少年育成市民会議深川支部

長門市青少年育成市民会議深川支部では、深川地区小学校の仮入学に合わせ、山口県青少年育成市民会議が作成した「家庭の日クリアファイル」を新1年生に贈呈しました。

また、「深川地区子ども110番の家マップ」を6年振りに発行し、深川地区の小・中学校に配付しました。現在深川地区では、64ヶ所の個人宅・事業所が「子ども110番の家」に登録しています。マップには、このうち掲載許可をいただいた61ヶ所を載せています。



向陽小仮入学での「家庭の日クリアファイル」の贈呈

「家庭の日」子どもたちが社会性の基本を身につける家庭において、意識して家族がゆつくりと話し合う機会を持ち、ふれあいを大切にするよう、毎月第3日曜日を中心に提唱しています。



「子ども110番の家」

子どもが何らかの被害に遭った、または遭いそうになった助けを求めてきた時、その子どもを保護するとともに、警察、学校、家庭へ連絡する等して、地域ぐるみで子どもの安全を守っていくボランティア活動です。

「立志」に込めた思いを伝えました

2月5日(土)、深川中学校で立志式が行われました。志やそれに込めた思い、きっかけなどを一人ずつステージに立つて宣言しました。冷え冷えとした体育館内に熱い思いのこもった力強い声が響き渡りました。ほとんどの生徒が自らめざす仕事を通じて「社会の役に立ちたい」「困っている人を助けたい」「信頼される人になりたい」と述べており、地域の次代の担い手としてとても心強く感じました。その後、保護者が見守る中、学年合唱「コスモス」を披露し、成長した美しいハーモニーを奏でていました。



長門市中央公民館 小学生向け事業アンケート

中央公民館では、主に深川小・向陽小児童の保護者を対象に「長門市中央公民館 小学生向け事業アンケート」を行いました。「わくわく土曜塾」「子どもクラブ」「夏休みおたすけ講座」等の小学生向け事業について、良かった点や改善してほしい点、こういう活動を取り入れてほしいといった率直なご意見を伺いました。全部で62件の回答をいただきました。

「わくわく土曜塾」については、特に家庭だけではなかなかできないような自然体験活動の需要が高いことがわかりました。

「子どもクラブ」では、クラブでの体験を通じて知識や技術を学べて良かったことや、クラブをより多くの子どもたちが利用できるようにするためのご意見等をいただきました。

「夏休みおたすけ講座」については、宿題の助けになっているという声の他、実施時間や内容について等のご意見・ご希望をいただきました。

その他「3B体操」等にも好意的なご意見をいただきました。



貴重なご意見をありがとうございます。お寄せいただいた声につきましては、次年度以降の計画・実施の参考とさせていただきます。これからも地域の小学生にとって有意義な事業となるように尽力します。

「こころ」を届ける絵手紙展

長門市青少年育成市民会議深川支部

中央公民館1階ロビーにおいて、2月16日（土）～3月11日（金）に青少年育成市民会議深川支部による「こころを届ける絵手紙展」を開催しています。絵手紙づくりを通して子どもたちの豊かな感性を育むことを目的としています。

今年のみりの保育園と深川幼稚園年長園児の皆さんによる作品を展示しています。干支にちなんだトラや季節の野菜・果物、ランドセル等がのびのびと描かれています。絵と一緒に子どもたちが書いたメッセージも心温まるものですので、ぜひご覧ください。



地域協育ネット 地域と学校が連携

1・2月は17コマの活動でした。

【向陽小】クラブ活動の時間に、前回までの講師によりニュースポーツ、手芸、工作、日本文化クラブは「茶道」を実施しました。

【深川小】4年生では、飯山八幡宮の上田久充宮司さんによる「楽踊り学習」、ストウリングス堀田隆子さんによる「箏演奏会」。5年生では、ちくちくクラブさん

とキルトサークルゆうさんによる家庭科「エプロン作り」。クラブ活動では、上田穰さんによる「華道」、キルトサークルゆうさんによる「裁縫小物づくり」、公民館長による「昔遊び体験」が実施されました。

今年度は、学校からの依頼により約30コマの支援活動ができました。ご協力に感謝申し上げます。今後とも子どもたちの学びや育ちに地域の方々にも関わっていただく「地域協育ネット」の取組を推進していきたいと思っております。



昔遊び：めんこ（日本文化クラブ）



華道（日本文化クラブ）